

2023年3月11日

第4期第3回教育学会連絡協議会運営委員会 議事録

日時：2023年3月11日（土）12:00～12:50

場所：オンライン（Zoom）

出席：吉田（委員長）、松下（事務局長）、岡部、浜田、米田、秋田、勝野、松浦、山口（日本教育学会事務局）、濱本（日本教育学会事務局・書記）

欠席：子安、坂越、中谷、中嶋

<議題>

1. 加盟と退会の申し出について

新規加盟申請 2団体

- ・日本部活動学会（2022年10月5日申請）
- ・日本モンテッソーリ協会(学会)（2023年1月31日申請）

→この後の総会に出席いただいて決議

2. 活動報告と会計予算・報告

① 活動報告

1-1. 運営委員会の開催：2022年8月24日11:30～12:30（Zoom）

2023年3月の公開シンポを検討

1-2. 規約の改正と監査承認の報告 【資料1】

→参加学会の代表より2名の監査を置く

② 会計予算・報告 【資料2】

→1-1. 予算案は承認された。

→1-2. 総会等のオンライン化により支出が減り、繰越金が増加している。
有効な用途について検討したい。

→吉田・松下：シンポジウム等のオンライン公開費に充てたい。

→勝野：対面での開催が増加すれば繰越金も消化されてゆくのではないか。

吉田：今夏の日本教育学会大会時には総会を対面で開催するのはどうか。

③ 学術会議との連携

3-1. 学術会議全体の動向

→吉田：学術会議の会員選定のために第三者委員会を設ける新法案が現在準備されているが、独立性について十分に担保されていると

は言い難い。内閣府に説明を求めたが不透明である。新法案の採決時期等が不明な状況下で新会員を選定している。他方で、政府から完全に独立した際に運営が可能であるかもまた不透明である。学会会議としては内閣府に留まる決定となった。

子安：関連協として学会会議の独立性を支持する声明を出してはどうか。

秋田：関連協では一丸となって提案することに賛同する。この後に総会にかけて決議すべき議題ではないか。

松下：任命拒否問題の際は加盟学会に賛同を呼びかける対応とした。今回も同じく賛同を募る形式がいいのではないか。

吉田：この後の総会にて加盟学会の賛同を募る形式で承認を得る。関連協全体としてすぐに声明を出すことは難しいので、継続的な議題とする。

3-2. 心理学・教育学委員会のうちの教育学関連の2つの分科会の状況

(a) 高大接続を考える分科会

- ・報告「日本における高大接続の課題―「セグメント化」している現状を踏まえて―」の発出を予定
- ・公開シンポジウム「あらためて高大接続を考える―有識者との議論を通じて―」（2022年12月12日）
- ・本日開催のシンポジウム

(b) 排除・包摂と教育分科会

- ・2023年3月18日と21日に、G-Science 学会会議のテーマに関連させて、U7および日本OECD共同研究、大阪大学・社会ソリューションイニシアティブなどと共同で、高校生・大学生が参加するプレゼンテーション、ディスカッションを開催
- ・公開シンポジウム「ことば・思考の力をどう育てるか―社会の包摂性を高めるために―」（2023年5月26日）（日本教育学会近畿地区と共同主催）

2-3. 共催シンポジウム「中等教育からはじめよう！ジェンダー平等」 (2022年5月5日)

- ・2023年2月23日に「子ども政策の総合化を考えるⅡ 乳幼児の学びの保障：幼児教育と小学校教育の接続の観点から」を開催。

3. 今後の活動計画について

① 学会会議との連携の方策について：

- 1-1. 次期の会員・連携会員の選考方法 ⇒学会会議で定めた方法が進めるが、内閣府の法改正提出との関係で先行き不透明。

4. その他

秋田：総会からシンポジウム等の企画を下ろしていく方法を継続してとっているが、学会同士の横の連携を促進することを考えてもいいのではないか。関連学会同士の交流の活性化を中長期的に支援したい。

- ・ 次回開催

日本教育学会大会は、24日（木）にオンライン開催、8月26日・27日に東京都立大学南大沢キャンパスにてハイフレックス開催の予定。いずれかの日程に開催。